

令和5年度日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士養成講習会 開催要項

1. 目的：

日本スポーツ協会（以下「JSP0」という。）と日本栄養士会は、公認スポーツ指導者制度に基づき、地域におけるスポーツ活動現場や都道府県レベルの競技者育成において、スポーツ栄養の知識を持つ専門家として、競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高めるための栄養教育や、食事環境の整備に関する支援等、栄養サポートを行う者として、公認スポーツ栄養士を養成する。

2. 主催：公益財団法人日本スポーツ協会 公益社団法人日本栄養士会

3. 主管：特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会

4. カリキュラム：

(1) 共通科目

150時間[事前学習・集合講習(対面またはWEB)・事後学習]

※公認スポーツ指導者養成講習会共通科目Ⅲ

1.	グッドコーチ（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者）に求められる人間力
2.	グッドコーチに求められる医・科学的知識
3.	現場・環境に応じたコーチング

(2) 専門科目[集合講習及び自宅学習]

116.5時間以上（集合講習、インターンシップ含む）

※「スポーツ栄養士に必要な基礎知識」は、日本スポーツ栄養学会開催「スポーツ栄養ベーシックコース講習会」（受講料別途）受講により単位取得

科目名	内 容	時間数
スポーツ栄養士に必要な基礎知識	スポーツ栄養ベーシック講習会受講(日本スポーツ栄養学会開催)	16.5
スポーツ栄養士の役割	他分野から見た公認スポーツ栄養士の役割 スポーツ現場での公認スポーツ栄養士の役割	2
スポーツ栄養 マネジメント	スポーツ栄養マネジメントの理論 栄養教育・行動科学 身体計測 理論 生理・生化学検査、臨床診査 理論 食事調査 理論 食事調査 演習	12.5
栄養補給	エネルギー補給(糖質、脂質) からだづくりとたんぱく質摂取 ビタミンとミネラル サプリメントとエルゴジェニックエイド 水分補給	9
スポーツ現場における 食環境整備	スポーツ現場における給食管理 種目別・目的別・多様性を考慮した給食管理の立案 エネルギー不足の理論(FAT含む) エネルギー不足のケーススタディ(演習) ウェイトコントロールの理論 ウェイトコントロールケーススタディ(演習)	3
目的・対象者別 栄養管理	貧血の栄養管理の理論 貧血の栄養管理のケーススタディ(演習) 試合前・中・後の栄養管理 遠征・合宿帯同に必要な基礎知識 ジュニアスポーツ選手の栄養管理(指導法)	23
スポーツ医学	アンチドーピング 内科的疾患(感染症、貧血、暑熱、アレルギーなど) 外科的疾患(リハビリ時) 障がい者スポーツ ジェンダーを考慮したスポーツ障害	7.5
エビデンス・ベースド・ ニュートリション	エビデンスの活用と公表の手順 プレゼンテーションスキル	3
インターンシップと 成果発表	媒体作成 プレゼンテーション 栄養指導の実践 成果のまとめおよび発表	40

5. 実施方法（開催期日・会場）：

（1）共通科目

※ 共通科目講習会の受講にあたっては、PC（タブレット端末含む）、インターネット回線、Microsoft ソフトウェア（Word、Excel、PowerPoint 等）の使用が必須となる。なお、当該内容は受講者の自己手配とし、その費用は受講者の自己負担とする。

事前学習	知識確認テストの合格ならびに個人学習の提出 ※ 事前学習の受講が集合講習の参加条件となる。
集合講習 （対面またはWEB）	JSP0 が各競技合同で実施する集合講習の受講 ※ 講習は3日間。受講会場は全10会場（令和5年7月～11月、対面8会場/WEB2会場）から希望聴取後に調整して決定する。 ※ 対面講習の参加に係る交通（駐車場手配含む）、宿泊は自己手配、自己負担とする。 ※ WEB講習の参加に係り必要となる通信機器・経費等（PC・マイク・カメラ並びにデータ通信量を含むインターネット回線等）は受講者の自己手配・自己負担とする。
事後学習	集合講習での学びを踏まえた現場実践 現場実践の内容のまとめと振り返り等のレポートの提出

（2）専門科目

① 集合講習会

日本栄養士会が主催し11月に3日間、翌年6月に3日間、10月に2日間で開催予定。原則として共通科目の全講義を受講しなければ受講できない。

② インターンシップ（現場学習）

スポーツの現場においてスポーツ栄養マネジメントに従って栄養管理を習得することを指す。インターンシップ先は、各自で確保すること。特に今回の募集では、新型コロナウイルス感染の状況にあっても栄養サポートを実施することができるインターンシップ先を確保すること。

6. 受講者：

公認スポーツ指導者育成の受講者受入方針（アドミッション・ポリシー）に定める内容の他、以下受講条件に合致する者を本講習会の受講者として受け入れる。

（1）受講条件

- * 受講する年の4月1日現在、満22歳以上の管理栄養士で、スポーツ栄養指導の経験がある者または予定のある者のうち、JSP0 および日本栄養士会が認めた者。
- * 受講有効期間内で講習の全日程に参加が可能である者。
- * 専門科目「スポーツ栄養士に必要な基礎的知識」の単位取得をしていなければ、受講することはできない。「スポーツ栄養士に必要な基礎知識」については「4. カリキュラム」（2）専門科目を参照すること。
- * 受講内定後インターネットサービス「指導者マイページ（<https://my.japan->

sports.or.jp/login) 」から申込が出来る者。

* その他 (JSP0 および日本栄養士会が認めた者)

(2) 受講者数

70 名程度とする。

7. 受講申込 :

受講希望者は、全て日本スポーツ栄養学会養成事務局を通じて受講申し込みを行うこと。

(1) 申込方法

- ・ 受講希望者は、JSP0、日本栄養士会、日本スポーツ栄養学会のいずれかのホームページより「受講の手引き」を入手すること。
- ・ 応募にあたり、「6. 受講者」(1) 受講条件をよく確認すること。
- ・ 所定の受講希望者個人調査に必要事項を記入し、所定の必要な書類を添付のうえ、指定期日までに日本スポーツ栄養学会養成事務局に提出すること。

(2) 受付期間 : 令和 5 年 3 月 3 日 (金) ~ 3 月 19 日 (日)

8. 受講料 : 41,800 円 (税込 : 受講内定時に納入)

< 内訳 > ・ 共通科目 : 22,000 円

・ 専門科目 : 19,800 円

※ 受講料は共通科目の免除内容・免除審査料等によって異なる。

※ 受講決定者は上記受講料を定められた期日までに納入すること。

※ 入金後の返金について受け付けないので注意すること。

※ 専門科目の再試験の受験料は、別途徴収する。

{ 口頭試験 : 一回当たり 16,500 円 (税込) / プレゼンテーション : 一回当たり 33,000 円 (税込) }

9. リファレンスブック : 共通科目講習会の教材。

※ 受講申込時点で購入している必要があり、受講申込時に購入可能。

※ 受講申込時に購入する場合は、以下の特別価格にて購入可能 (その他のタイミングでの購入は通常価格)。

紙版 3,300 円 (税込)、電子版 2,640 円 (税込)

10. 受講有効期間 : 5 年間

11. 受講者の内定から決定までの流れ :

(1) 提出された受講希望者個人調書を審査のうえ、日本栄養士会および JSP0 が受講者を内定する。

(2) 審査では、各都道府県の公認スポーツ栄養士の有資格者数および受講者数を考慮しつつ、調書の内容から選考する。

(3) 全ての受講希望者へ審査結果を通知する。なお、受講内定者には併せて「受講内定通知」が送付される (令和 5 年 5 月中旬予定)。

- (4) 受講内定者は JSP0 が運営する指導者マイページの登録・申込みを行い、受講料を JSP0 に納める。受講料の納入をもって、受講者として決定する。なお、受講料を納入しない場合には、本講習会の受講資格を取り消す場合がある。
※ 講習会受講時の本人確認に必要となるため、受講開始までに指導者マイページへの顔写真のアップロードを実施すること。
- (5) 受講料の納入とリファレンスブックの購入が確認された者にリファレンスブック(紙版)等(電子版購入者や講習受講申込以前の紙版購入者へはリファレンスブック(紙版)を除く)を送付する。
- (6) 受講決定者は、受講有効期間内(受講開始年度を含め5年間)に共通科目と専門科目の全てを修了しなければならない。なお、受講有効期間内にカリキュラムの全てを修了しない場合は、受講者としての権利をすべて喪失する。

12. 講習・試験の免除：

既存資格及び JSP0 免除・適応コースの履修等により、講習・試験の一部又は全部を免除することができる。免除に関する詳細は別に定める。

13. 検定試験・審査：

共通科目と専門科目に区分して実施する。

- (1) 共通科目
事前学習・集合講習(対面または WEB)・事後学習(課題レポート)による総合判定とし、JSP0 において審査する。
- (2) 専門科目
知識を問う口頭試験と、インターンシップでのスポーツ栄養マネジメントに則った栄養管理の発表(パワーポイントによるプレゼンテーション)による総合判定を行い、日本栄養士会において審査する。
- (3) 共通科目および専門科目の検定合格者を「公認スポーツ栄養士養成講習会修了者」と認める。
- (4) 免除措置適用者における検定については、別に定める。

14. 登録及び認定：

- (1) 共通科目及び専門科目の全ての検定試験に合格するなど、所定のカリキュラムをすべて修了し、公認スポーツ栄養士として必要な資質能力を修得した者を修了者(「新規登録」対象者)と認め、修了通知と登録案内を送付する。
- (2) 公認スポーツ指導者登録規程に基づき、登録手続き(登録料の納入等)を完了した者を公認スポーツ栄養士として認定し、「認定証」及び「登録証」を交付する。
※ JSP0 関連規程等において違反行為と規定された行為があったとして JSP0 が認めた時は、登録の権利を失い認定されない場合がある。
- (3) 登録料は4年間で20,000円(基本登録料10,000円+資格別登録料10,000円)とする。なお、初回登録時にのみ初期登録手数料3,300円(税込)が別途必要となる。
※ すでに公認スポーツ指導者資格を取得している場合は、登録料が異なる場合

がある。

- (4) 資格の有効期間は4年間とし、4年毎に更新する。ただし、公認スポーツ栄養士以外に公認スポーツ指導者資格（スポーツリーダーは除く）が認定されている場合、初回の有効期間は、新規認定期日からすでに認定されている資格の有効期限までとする。
- (5) 有効期間満了に伴う「更新登録」にあたっては、有効期限の6カ月前までに、所定の単位を取得しなければならない。取得単位に関する詳細は別に定める。
- (6) 日本栄養士会の特定分野認定制度の一環として認定が行われるため、その規定に則ること。

「特定分野認定制度」：<http://www.dietitian.or.jp/about/concept/cultivation/>

（日本栄養士会 HP）



15. 注意事項：

- (1) 受講有効期間内に所定のカリキュラムを修了しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失する。
- (2) 本講習会受講に際し取得した個人情報、本講習会受講者の管理及び諸連絡以外には使用しないものとする。
- (3) 本講習会の受講有効期間内に他の公認スポーツ指導者養成講習会の受講はできない。また、受講申込時点で他のJSP0公認スポーツ指導者資格養成講習会の受講有効期間内又は未修了の場合は、本講習会への受講申込はできない。
- (4) 受講者としてふさわしくない行為（JSP0関連規程等において違反行為と規定された行為）があったと認められた時は、JSP0指導者育成委員会および日本栄養士会において審査し、受講資格の取消しないしは停止、受講済科目の一部ないしは全部の取消し、資格登録権利の停止等の処分を行う場合がある。なお、処分内容については、JSP0公認スポーツ指導者の処分に関連する諸規程に照らし合わせるとともに、受講状況等に応じて検討する。
- (5) 本講習会風景の写真等は、JSP0又は日本栄養士会のホームページ及びその他関連資料へ掲載する場合がある。
- (6) 天災地変や伝染病の流行、講習会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等のJSP0又は日本栄養士会が管理できない事由により、講習会内容の一部変更及び中止のために生じた受講者の損害については、JSP0又は日本栄養士会ではその責任を負わない。
- (7) 手話通訳、要約筆記等の希望や受講にあたって支援や配慮が必要な場合は、受講申込時に日本スポーツ栄養学会養成事務局まで申し出ること。申し出があった場合、個別の状況等に基づき、総合的・客観的に判断し、必要かつ合理的な対応を講じる。なお、もしも受講をキャンセルした場合で必要かつ合理的な対応のキャンセルに伴う費用が発生した場合は、当該受講者の負担とする。

16. 問合せ先：

< 専門科目、講習会全般に関するお問い合わせ先 >

特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会 養成事務局

TEL：080-3576-5152 メール：contact@jsna.org

< 共通科目お問い合わせ先 >

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ指導者育成部 コーチ担当

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

TEL：03-6910-5812 メール：coach@japan-sports.or.jp

スポーツと、望む未来へ。



公益財団法人

日本スポーツ協会

JSPO
Japan Sport Association

「受講希望者個人調書」の記入について

手引きを熟読し、講習会の内容・流れを十分ご理解・ご了承の上、お申込みください。

【受講希望者個人調書記入に際しての留意事項】

- ① ワードのファイルを利用して作成する場合には、調書は予め2ページで作成されていますので、項目や項目ごとの設定を変更しないでください。記載に際し、文字の大きさを 9ポイント以上としてください。記入漏れ、設定が変更されている調書は、受け付けないこともありますので、ご注意ください。**手書きは認めません。**
- ② 共通科目免除申請については、「受講の手引き」の4ページ」の免除概要及び受講料をご確認ください。なお、共通科目免除を申請される方は、必ず免除証明書類の写しを添付してください。また、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者として既に登録されている方も、該当指導者資格の登録証（裏面）等の写しを添付してください。
- ③ 推薦書等の別添書類は受け付けません。調書に同封されていた場合には、受け付けた時点で破棄させていただきます。
- ④ 調書の署名欄は、自署でご記入ください。
- ⑤ 管理栄養士免許状・スポーツ栄養ベーシック講習会修了証（**必須**）の写しを同封してください。同封なき場合は未取得とみなします。
- ⑥ 必要事項の記入及び書類の準備（「受講の手引き」6ページ参照）ができましたら、**必ず日本郵便『レターパックプラス』を使用し（レターパックライトは使用不可）、下記送付先へお送りください。それ以外で提出された場合は受領不可とし破棄します。**
- ⑦ なお、送付いただいた調書等の各種書類につきましては、返還いたしませんので予めご了承ください。

【送付先】 「NPO 法人日本スポーツ栄養学会 養成事務局」

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1

神奈川県立保健福祉大学栄養学科 鈴木志保子研究室（TEL：080-3576-5152）

【申込期間】 令和5年3月3日（金）～3月19日（日）

※ 当日消印有効

※ 申込期間外の消印で到着した書類（免除書類含む）は一切受け付けません。書類は、開封せず破棄します。

記入例

令和5年度公認スポーツ栄養士養成講習会 受講希望者個人調書

記入漏れがあると、受講対象となりません。ご注意ください。印刷は片面印刷、A4サイズ2ページに収めること。

※記入漏れがある場合や書式が変更された調書は受け付けませんので十分ご注意ください。
 ※推薦書等の別添書類は受け付けません（同封されていても破棄させていただきます）。

フリガナ		性別	生年月日	
氏名	〒	・勤務先とは給与の支払元を指します。 例：受託給食会社勤務の場合、配属先ではなく受託給食会社名を記載ください。 ・社会人大学院生の場合は、大学名ではなく、社会人としての勤務先を記載してください。 ・大学院生の場合は大学名のあとに所属課程を記載してください。（例：博士課程前期〇年） ・個人事業主の方はご自身の会社名等を、ない場合にはフリーランスと記載ください。	西暦	2023年4月1日現在
			年	月
連絡先 ※住所は都道府県から記載ください	〒		TEL	
			携帯 TEL	
メール(携帯以外)			緊急時に連絡できるアドレス	
勤務先 (部署名・役職)	〒	例 ○○給食株式会社 (フードサービス部 マネージャー)	勤務先 TEL	
			勤務先メール	
最終学歴			西暦	年 月 卒業(修了)
日本スポーツ栄養学会 入会者のみ会員No.を記入	会員番号:		日本栄養士会 入会者のみ会員No.を記入	会員番号:
合格者情報(氏名・資格名・所属都道府県)の掲載・提供について 日本スポーツ協会 HP 並びに報道機関各社への情報掲載・提供を				了承する ・ 了承しない

日本スポーツ協会認定資格免除申請(共通科目)	申請する ・ 申請しない
------------------------	--------------

※ 免除申請者は、必ず免除証明書類の写しを貼付してご提出ください。貼付のない免除申請は認められません。

公認スポーツ栄養士養成講習会 過去の受講歴(いずれかに○)

共通科目	講習会未受講 ・ 試験未受験 ・ 試験修了(合格) ・ 未修了(不合格) ・ 免除
専門科目	講習会未受講 ・ 検定試験未受験 ・ 修了(合格) ・ 未修了(不合格)

公認スポーツ栄養士 受講動機

公認スポーツ栄養士資格取得後の活動予定 (詳細な記載がない場合は選考対象外となります。)

公認スポーツ栄養士養成講習会は国庫補助事業です。受講決定者は資格を取得することが前提となります。

受講有効期間内に養成講習会を受講し、検定試験を受験することに同意しますか。

同意する

同意しない

どちらかにチェック☑をいれてください

上記のとおり相違ありません。

西暦

年

月

日

署名 (自署)

活動実績

スポーツ選手、運動を行う方を対象とした管理栄養士資格取得後、かつ直近5年以内の業務について、サポート活動の主要なもの3件まで、およびその他の活動について詳細に記載ください。※その他の活動については、件数に上限はありません。必要に応じて記入欄を追加して記載ください。

※「サポート」とは、目的・期間を設定し、スポーツ栄養マネジメントに則った栄養管理を指します。

サポート活動(経験ありの方)

期間	対象	対象人数	概要 (対象・立場・目的・サポートについて具体的な実施内容を記入ください)
記入例 1年4ヶ月間 2000年〇月～ 2000年〇月	高校生選手	25名	チームからの依頼のもと、管理栄養士として高校野球部の選手を対象としたサポートを行った。選手は、夏季期間中に体重の低下がみられることから、補食摂取行動の改善によるエネルギー摂取量を確保し体重を維持することを目標とした。体重をモニタリングしながら、選手には2週に一度面談し、食事内容や体調を聞き取り、補食や食事の改善について個々に指導した。
2年10ヶ月間 2000年〇月～ 現在継続中	実業団選手	15名	実業団女子駅伝チームの栄養スタッフとしてサポートを行った。チーム選手15名の定期的な面談により、体重や体調管理サポートを行っている。とくに3名の選手は貧血や無月経があり、婦人科医と連携しながら鉄栄養状態の改善と利用可能エネルギー不足の改善の栄養管理を行って、うち2名は貧血が改善された。1名は継続して受診しながら栄養管理を続けている。また、年2回の国内合宿に帯同し、滞在先の食事調整や補食飲料等の管理、体調管理相談を行った。
〇年〇ヶ月間 2000年〇月～ 2000年〇月		名	5年以内の活動を記載してください。複数可。 ただし、期間・対象・対象人数が明確でないものは、実績とみなせません。

その他の活動

実施内容	概要 (実施日や期間・対象・対象人数・立場・具体的な実施内容を記入ください)
例: セミナー・講演等の講師 依頼を受けての講習会講師等	<ul style="list-style-type: none"> 2000年〇月 高校生選手とその保護者50名にスポーツ栄養講習会を次の項目で実施した。①食事の基本②夏バテしない水分・栄養摂取③増量の食事④コンディショニングと食事。講習会は配布資料を準備し、2時間程度で行った。 2000年度 大学●●部の選手30名を対象に3回、各1時間の栄養セミナーを行った。内容は以下の通りである。1回目:4月 食事の基本、2回目:8月 試合前の栄養補給、3回目:12月 オフ期間の食事の注意点
例: 給食管理業務 栄養サポートを伴わない給食管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 2000年〇月～2000年〇月 ●年△か月 〇〇会社柔道部寮にて入寮している実業団選手20名に対し栄養価基準、食品構成を作成しチームの練習スケジュール、大会スケジュールを考慮し、朝食、夕食の献立作成を行い、調理、食事提供業務を行っている。 2000年〇月～〇月 △か月 〇〇会社陸上部の海外遠征にて、合宿に参加した実業団選手10名に対し栄養価基準、食品構成を作成し、チームの練習スケジュールを考慮し、朝食、昼食、夕食の献立作成、調理、食事提供業務を行った。
例: その他 メディカルチェック時の食事調査のフィードバックなど単発的な関わりや、アスリート向け献立やメニューのアドバイス、コンサルティングのような業務	<ul style="list-style-type: none"> 2000年〇月～2000年〇月 ●か月 大学生・高校生・中学生・小学生選手150名対象に、〇〇県スポーツセンターの非常勤管理栄養士として、国体参加選手のメディカルチェック、体力測定時に食生活調査を行った。結果は個人ごとにアドバイスを含めフィードバックした。年間約10回、延べ1500人に実施した。 2000年〇月発行 〇〇(企業名等)発行のフリーペーパーに、運動愛好者向けメニューの監修を行った。発行部数〇部。テーマは、筋力アップ、ウエイトコントロール(減量)、試合前。メニュー数は各〇つ。各テーマごとに、スポーツ栄養学からの解説も掲載した。

予定インターンシップ先

開催要項の「5. 実施方法-(2)専門科目-②インターンシップ(現場学習)」について熟読後、予定インターンシップ先を記載してください。未定の場合は未定と記載してください。
2023年度募集に際しては、新型コロナウイルス感染拡大が収束していない状況であっても、活動できるインターンシップ先を記載してください。